

神苑の決意

平和と独立を求める
民衆の「決意」を伝える
神道ジャーナリズム誌

本号の内容（主張）五輪中止 最後の決断を（木川智）：1 / 【連載】児玉
誉士夫を君知るや16（木川智）：4 / 那覇市議選のすすめ（下）（仲村之
菊）：6 / 花瑛塾令和三年五月・六月活動報告：7 / 【連載】記録沖縄戦⑩（沖
縄戦史研究会「棒兵隊」）：14 / 【談話室】「表現の不自展かんさい」の
展示をめぐる府立施設の利用承認取消しについて：17 / 【連載】葦津珍彦
と神道ジャーナリズム16（鎌倉佐助）：18 / 編集後記：20

1部 1000円

天皇陛下のご懸念を承り、国民による民主的な意思決定を下そう

五輪中止 最後の決断を

神苑の決意 木川智

【主張】 宮内庁の西村泰彦長官は先月二十四日の定例記者会見の席上、記者から五輪開会式が近づくなか関係機関との調整の状況を問われ、「天皇陛下は、現下の新型コロナウイルス感染症の感染状況を大変ご心配しておられます。国民の間に不安の声がある中で、ご自身が名誉総裁をお務めになるオリンピック・パラリンピックの開催が感染拡大につながらないか、ご懸念されている、ご心配であると拝察しています」と述べ、大きな話題となった。

コロナ禍での五輪開催に国民の不安は高まり、多くの専門家も五輪開催によるコロナの感染拡大を危惧するなか、「拝察」の形式をもっての天皇陛下の「ご懸念」の思召しは、かたじけなくも民を慈しむ聖慮であるとともに、科学的知見に基づいたきわめて正確なものであり、至極まっとうで当然のものである。

また、ことはそれだけにとどまらない。天皇皇后両陛下は、コロナ禍にあつて今年五月に島根で開催された四大行幸啓の一つである全国植樹祭にリモートでご出席された。通例、五輪開会式は天皇陛下がご出席され、開会宣言をお述べになるが（西村長官への記者の質問も直接的にはそれを取り上げている）、開会式へのご出席の次第によっては、他の象徴的行為との整合性がとれなくなる。

ただでさえ開催中止の声が多数を占める五輪